

第16回日本臨床口腔外科医会研修会

歯周治療のスタンダード

－エビデンスを基にしたdecision-makingを行うために－

日本歯科医師会生涯研修認定

これまでわが国の保険制度における歯周治療は平成8年に出された日本歯科医師会によるガイドラインに則って行われてきました。しかし昨年4月の診療報酬改定ではメンテナンス期間の制限などが導入され、その結果、診療の現場では著しい混乱をきたしています。現在、日本歯科医師会・歯科医学会を中心にガイドラインの改訂が進められていますが、日本歯周病学会では、それに先立って本年3月に新ガイドラインを発表しました。

また最近になって、アジスロマイシン（ジスロマック®）併用下でのfull-mouth disinfection（FMD）やレーザーを用いた歯肉縁下処置など歯周治療に新たな選択肢が提案されています。さらには、歯周病と全身疾患の関連についての様々な情報が臨床の場にあふれてきています。本講演では、新ガイドラインに準拠した「スタンダードな歯周治療」とは何か、また新たな情報や選択肢は臨床家の選択に値するだけのエビデンスがあるのかについて、症例をまじえながら解説したいと思います。



講師

島内 英俊先生

・東北大学大学院歯学研究科教授
歯内歯周治療学分野
・東北大学病院副院長

日程 平成19年9月2日（日）12:00～16:00

開催地 大阪大学中之島センター10F
佐治敬三メモリアルホール
〒530-0005大阪府北区中之島4-3-53

定員 180名
本講演に関心のある方はどなたでもご参加できます
先着順で定員になり次第締め切ります

参加費 5,000円
（日本臨床口腔外科医会会員：無料）

講演内容

- Evidence-based Medicine（EBM）の考え方
- 歯周治療のガイドライン（日本歯周病学会版）における変更点
- ベーシックな歯周治療の効果
- レーザーを用いた歯肉縁下処置はSRPIに代わることができるのか？
- 歯周治療におけるくすりの使い方
・全身投与なのか、局所投与を行うべきか
・どのくすりを投与すべきか？
- 残存する歯周ポケットに対してどの方法を選択すべきか？
・外科療法 vs 非外科療法
・切除療法 vs 歯周組織再生療法
- メンテナンスはなぜ必要なのか？
- 全身疾患リスクとしての歯周病の最新のエビデンス

お申し込み方法

下記の用紙に必要事項をご記入の上

Fax (06-6872-5968)

にてお申込ください。

申込先：日本臨床口腔外科医会（JACOMS）事務局
〒661-0021
兵庫県尼崎市名神町1-11-1
アビーロード名神1F いびき歯科医院内

- 振込先：紀陽銀行 羽倉崎支店（普通預金）442294
- 口座名：日本臨床口腔外科医会 会計 栗本拓哉

第17回研修会のお知らせ

上顎臼歯遊離端インプラントにおける骨欠損症例の攻略

- 日時：平成20年2月3日（日）
- 場所：大阪（千里ライフサイエンスセンター）
- 講師：菅井敏郎先生（東京医科歯科大学臨床教授、東京都開業）
堀内克啓先生（大阪大学歯学部臨床教授、奈良県開業）
室木俊美先生（日本口腔インプラント学会評議員、石川県開業）
阪本貴司先生（日本口腔インプラント学会指導医、大阪府開業）
中島 康先生（ITI国際メンバー、大阪府開業）

ご質問等は j-info@jacoms.gr.jp までメールにてお願いします。

お申し込みご入会については、日本臨床口腔外科医会 URL <http://www.jacoms.gr.jp> でもご案内しています。

第16回日本臨床口腔外科医会研修会 歯周治療のスタンダード 申込書

FAX 06-6872-5968

氏名	住所 〒	
所属（勤務先）		
電話番号	FAX	Eメール